平成 27 年度 春定期末試験問題・解答

試験実施日 平成 28 年 1月 26 日 3 時限

出題者記入欄

試 験 科 目 名 代数幾何 I		出題者名佐藤弘康			
試 験 時 間60_分	平常授業	连日 <u>火</u> 曜日 <u>3</u> 時限			
持ち込みについて 可	√(\ □)	可、不可のいずれかに○印をつけ 持ち込み可のものを○で囲んでください			
教科書 ・ 参考書 ・ ノート (手書きのみ ・ コピーも可) ・ 電卓 ・ 辞書 その他 ()					
本紙以外に必要とする用紙 解答用紙 0 枚 計算用紙 0 枚					
通信欄 ① ~ ⑥ の配点の合計は 100 点であるが, 上限を 85 点 とする.					

受験者記入欄

学	科	学 年	クラス	学籍番号	氏	名

採点者記入欄

	31.7.11 H HZ; 11/13
採点欄	評価

1 次の計算をしなさい【各 10 点】.

$$(1) \ 2 \left(\begin{array}{ccc} 3 & 9 & 6 \\ 2 & 1 & 5 \end{array} \right) - 3 \left(\begin{array}{ccc} 1 & 4 & 3 \\ 5 & 3 & 1 \end{array} \right)$$

 $(2) \left(\begin{array}{cc} 2 & 3 \\ 5 & 6 \end{array}\right) \left(\begin{array}{cc} 1 & 4 \\ 2 & 5 \end{array}\right) - \left(\begin{array}{cc} 2 & 3 \\ 5 & 6 \end{array}\right) \left(\begin{array}{cc} 4 & 3 \\ 5 & 1 \end{array}\right)$

$$(3) \left(\begin{array}{cc} 1 & -1 \\ 2 & 3 \end{array}\right) \left(\begin{array}{cc} 3 & 6 \\ -1 & 0 \\ 2 & 1 \end{array}\right)$$

 $\begin{pmatrix}
4 & 0 & 1 & 5 \\
-3 & 3 & 1 \\
2 & 1 & 5
\end{pmatrix}
\begin{pmatrix}
2 & -1 & 4 \\
1 & 3 & 0 \\
-4 & 5 & 1
\end{pmatrix}$

 $egin{aligned} egin{aligned} egin{aligned\\ egin{aligned} e$

3 クラメールの公式を用いて連立1次方程式

$$\begin{cases}
-2x + 4y - 6z = 2 \\
x - 3y + 5z = 1 \\
-x + 4y - 2z = -8
\end{cases}$$

の解を求めなさい.【10点】

4 下の行列の変形は連立1次方程式

$$\begin{cases} x + 2y + 3z = 4 \\ 2x + 5y + 8z = 10 \\ 3x + 2y + z = 0 \end{cases}$$

の拡大係数行列を行基本変形したものである。この変形が正しいか否か判定しなさい。正しい場合はその正しさを証明し、正しくない場合は正しい行基本変形を施して連立1次方程式の解を求めなさい。【15点】

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & | & 4 \\ 2 & 5 & 8 & | & 10 \\ 3 & 2 & 1 & | & 0 \end{pmatrix}$$

$$\downarrow$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & | & 4 \\ 0 & 1 & 2 & | & 2 \\ 0 & -4 & 8 & | & -12 \end{pmatrix}$$

$$\downarrow$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & | & 0 \\ 0 & 1 & 2 & | & 2 \\ 0 & 0 & 16 & | & -4 \end{pmatrix}$$

$$\downarrow$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & | & 0 \\ 0 & 1 & 2 & | & 2 \\ 0 & 0 & 1 & | & -\frac{1}{4} \end{pmatrix}$$

$$\downarrow$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & | & -\frac{1}{4} \\ 0 & 1 & 0 & | & \frac{5}{2} \\ 0 & 0 & 1 & | & -\frac{1}{4} \end{pmatrix}$$

5 掃き出し法を用いて連立1次方程式

$$\begin{cases} x + 2y + z = 2\\ 2x + 4y + 3z = 5\\ x + 2y + 2z = 3 \end{cases}$$

の解を求めなさい.【15点】

6 行列
$$A = \begin{pmatrix} 6 & 5 & 3 \\ 5 & 4 & 3 \\ 7 & 6 & 5 \end{pmatrix}$$
 の逆行列を求めなさい.【15 点】

7 同次連立1次方程式

$$\left\{ \begin{array}{l} x+y+z+aw=0 \\ x+y+az+w=0 \\ x+ay+z+w=0 \\ ax+y+z+w=0 \end{array} \right.$$

(ただし, a は定数) は, a=1,-3 のときに限り非自明解をもつ. この理由を説明しなさい (この命題を証明しなさい). 【15 点】